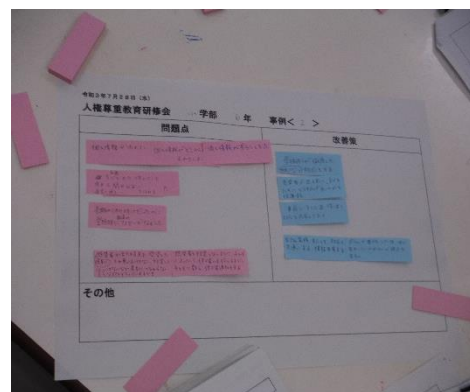


「新しい時代に求められる教員の人権意識

～新型コロナウイルス感染症と性同一性障害や性的指向・性自認～



一昨年度に引き続き、弁護士の関哉直人（せきや なおと）先生をお迎えして以上のテーマで人権研修を実施し、御指導、御講評をいただきました。

研修は事例検討を通して行いました。「新型コロナウイルス感染症と人権」「LGBTQとSOGI」に関する3事例について取扱い、問題点や改善策をグループごとに議論しました。その後、各グループから検討内容について発表を行い、検討内容について講師から講評をいただく形をとりました。

検討会では、どの立場の方から、どのような意見が出てきそうか、その時にどう対応したら人権を守れるのか、それぞれの人権を守りつつどこまで情報を伝えることができるのか等、様々な角度から意見を出し合いました。

「新型コロナウイルス感染症と人権」・・・関哉先生からは、文部科学省から通知のあった資料を引用されながら、解説をいただきました。大切なのは、本人の意向を最優先にすること。また、児童・生徒が登校できなくなることを避けるために、個人情報保護を徹底すること。そのためには「外部から、どんな質問がきても答えない」というスタンスを徹底すること。感染理由による差別を防ぐため、段階をつけてはいけないこと。感染症への罹患は、自己責任ではないという周知の仕方を予め行っておくこと等を学びました。

「LGBTQとSOGI」・・・個人が特定される前に、事前に一般化して児童・生徒に考える機会をもたせるのがよい。児童・生徒、保護者から相談があった内容について、支援機関等（その子の保護者を含めて）に相談する必要があるようなことがあっても、相談者の気持ちを最優先にすることが大切である。というお話をいただきました。

今後も本研修の成果を生かし、児童・生徒が心健やかに、より良い成長ができるよう教職員一同努めてまいります。

○本研修は、GIGA スクール構想への対応という観点から、アンケートをデジタル化し、スマートフォンからも回答できるように工夫しました。